

SSKW

みんなの家 だより

No. 222

2016・3・28 編集 社会福祉法人みんなの会 東大和市奈良橋6-728-2

第25回支援コンサート

～響け!じょんから～



高橋竹童



第二十五回支援コンサート

おかげさまで 大成功!

二月七日(日)に開催しました「高橋竹童コンサート」は、七百名に近いお客様で、ホールは満席となりました。

前半は、黒の紋付に身を包んだ高橋竹童さんと尺八の佃康史さんのお二人の、演奏家として高い芸術性を感じさせる演奏で、あらためて津軽三味線の魅力を堪能しました。さらに、後半では、民謡の小山みつなさんの胸に迫るような美しい歌声と、太鼓の真直くんが加わった幅広い内容で、日本の古典芸能の奥深さを感じさせてくれました。とくに最後の「津軽よされ節」は圧巻で、「感動した」「生きる喜びを感じた」など多くの声が寄せられました。出演者全員によるアンコールでの真直君踊りにも、満席の会場はおおいに沸きました。

ポスターの張出など宣伝にご協力くださったみなさま、一枚一枚声をかけ、チケット普及に奔走して下さったみなさま、多くの地域の方々のご支援で大成功をおさめることができました。本当にありがとうございました。

支援コンサート ありがとう

支援コンサート 三回目の出演となる 竹童さん



迫力ある演奏で、会場を魅了。津軽三味線の他、胡弓も披露。楽器の説明もありバラエティに富んだ構成やおもしろいトークも良かったと大変好評でした。三味線が身近に感じられ、竹童さんファン、三味線ファンが増えたコンサートになりました。

手づくりの看板



ようこそ
おいでくださいました！
開場前から行列が！！
お客様一人ひとりに感謝し
プログラムを手渡しました

満席の会場！



ロビー販売

自主製品やコーヒー、チョコレートなど、多くのお客様に買っていただき、貴重な工賃収入となりました。



「みんなの会」主催 障害者権利条約学習会

昨年(2015年)のきょうされんとうきょう大会に参加した「ささええる会」世話人さんから、障害者権利条約をもっと学習しようと言言があり、三月十五日中央公民館ホールにて学習会を開催しました。みんなの家も所員・職員全員で参加しました。

講師はきょうされん常務理事の赤松英知さん、障害のある人はどんな時に差別されていると感じているかというお話から、「差別とは障害を理由に区別、排除や制限をすること」障害があっても、その不便さを取り除く配慮や環境の調整がされれば(合理的配慮)生きやすくなる。その「合理的配慮をしないことが差別である」ということを、わかりやすく話してくださいました。

参加者からも、「障害のある我が子の幼少時はタクシーも乗せてもらえずどこにも行けなかった」との発言もあり、誰もが生きやすい社会にするために、障害者権利条約や差別解消法についてをもっと地域に知らせなければと思いました。

美しい声で熱唱
小山さん



「よされ!この世はされ!」
の叫びが印象的だった。
「津軽よされ節」とは、青森の
人たちが「貧困」と「凶作」に
苦しんでいた時にできた民謡で
「こんな苦しい世の中は
早く去ってほしい、どこ
かへ行ってほしい」とい
う悲痛な叫びからできた
民謡だったそう
です。

カッコイイ!
尺八の佃さん

尺八の他、横笛も
披露。竹童さんと
の相乗効果が
スゴイ!



中学生になった
真直くんも
みてみたい!

11歳とは思えない
堂々とした太鼓
や踊りに拍手喝采
でした。



最高の舞台
ありがとう!

コンサート二週間前の時点
ではチケットの普及が目標
まで、あと160枚だった
のですが、その後、多くの
方のお力添えのより、わず
かな期間で会場をいっぱい
にするまでになりました!



通所者より自主製品の詰め合わせをプレゼント

「CAZEカフェ」で販売しました

小平市中島町の足湯「こもれびの湯」の
となりに、あさやけ風の作業所が運営して
いる「CAZEカフェ」があります。

以前、陶器の焼成を請け負ったご縁で販
売に誘っていただき、三月十日(木)に初
めて出店させていただきました。

作業所の二階にあるテラスは、ウッドデ
ッキのおしゃれな作りで、周りは林に囲ま
れて、素敵な雰囲気です。

いつものようにテーブルに並べるだけ
なく、フェンス下のコンクリート部分にも
陶器を並べ、さをり織りの洋服もフェンス
にかけて、アート作品のようでした。

寒い日でしたが、お散歩途中のお客様が
やってきて、初めて見るみんなの家の作品
に興味を示してくださいました。

本日は翌十一日
(金)にも販売の
予定でしたが、雨
で断念。

次の機会につなげ
られたらと思えた
販売でした。



きょうとさん東京支部

第一回 実践交流会

「集い 学ぼう 変わらない精神を」をテーマに 二月二十七日(土) きょうとさん東京支部の実践交流会が開かれ、二百二十名の作業所職員が集いました。午前中の全体会では、きょうとさん事務局次長の坂下共さんによる講演「戦争と障害者」が行われ、ナチスによる障害者の虐殺をドイツで取材した際の報告があり、生々しい痛みと怒りを覚えました。人間を生産性のみで推し量ることの恐ろしさをあらためて感じました。現在おきている様々な問題を、「自分事」としてどれだけ捉えられるか、それによって人としての豊かさをどれだけ広げられるかを参加者に問うた講演でした。午後は五つの分科会にわかれ、実践交流を深めました。



分科会「つながる・network」

さまざまな施設から集まった二〇名ほどの職員とアドバイザー役が四つのグループに分かれ、それぞれの事例について熱のこもった検討をくりひろげました。日々、職員としていろいろな問題にぶつかりますが、職場内で話し合うのはもちろんですが、ほかの施設の人と話すことで、気付かぬうちに凝り固まった考え方になっていた自分にハツとして、視点を変えることが大事だと思えました。職員同士ならではの共感も感じたり、参加して良かったと思う分科会でした。

分科会「働く」

「働く分科会」には七〇人近い人が参加しました。そのほとんどが経験五年未満の若い職員さん。最初に司会の方から、小平に作業所運動が盛んだった理由についての話があり、その後四人のパネラーが、「知的や重い行動障害」「アルコール障害」「重症心身障害」「さをり織り作業を通して」という各立場から働くとはどういうことなのかを考える問題提起をしました。

発表後、各パネラーに対しての質疑応答では「問題解決までの過程」や「所員さん

とのかかわり方」「そもそも働くとはどういうことだと思うか」と具体的な質問が出され、熱心に聞き入っていました。

分科会「経営事務」

午後の経営・事務分科会はきょうとさん経営管理部会の皿海みつる氏の講義に参加しました。

「社会福祉法人改革がもたらす影響と今後の運動課題」というテーマで、新聞報道等であたかも社会福祉法人が利益をため込んでいる様な誤った報道がされているが、まったく事実ではないことを会計上から明らかにし、規制緩和で営利事業の参入が容易になった介護分野で事故が多発しているなど、医療、介護、福祉などの、命と権利をまもる分野に競争原理はあてはまらないということと、障害者権利条約を隅々に広める運動がこれから大切だと学びました。



うどん祭

第一みんなの家 地域交流会

三月五日(土)、第一みんなの家にて毎年恒例の地域交流会『うどん祭』を開催しました。

東大和の郷土料理でもある手打ちうどんを、こだわりの国産小麦を使い、朝早くからベテランのボランティアさんが腕をふるって打って下さいました。

当日は、天気にも恵まれ、今までにない大勢のお客様が来店して下さいました。おかげで、早い時間にうどんが完売しました。せつかくおいでいただいたのに、召し上がって頂くことができず本当に申し訳ありませんでした。

反省点も多く、来年はさらに改善して取り組みたいと思います。

ご協力頂いた皆様ありがとうございます。ございました。



実行委員長 山本 榮喜

当日は天気もよく、うどんがたくさん売れました。皆さんすごく頑張ったと思います。

実行委員 小川 恭子

天気が良かったこともあり、お客様がバザーに集中して忙しかったけど、楽しかった。

実行委員 小川 恵美子

あまりにもお客様が多く、わざわざ来てもらった方に帰ってもらわなければならず申し訳なかった。

実行委員 関下 健

初めてで緊張したけど、くじも経験できました。うどん美味しかったです。

プロフィール

第二みんなの家

太田 優さん

太田さんは二〇一四年十一月から通所されています。その名の通り、優しくておだやかな人柄ですが、昔は大型のバイクに乗ったり、ロックを聴くのが好きだったり、意外な一面も持っています。作業所では、主に下請けをやっています。太田さんのほんわかとした雰囲気、回りの方にも伝わるのか、楽しくおしゃべりしながら作業をする光景が見えます。

なんでも一生懸命、まじめに取り組んでくれる太田さん。「体を大事にしながら、これからも仕事を頑張りたい！」と話されます。今年は、五月におこなう「みんなの家まつり作品市」の実行委員を初めてやることになりました。みんなで協力して、まつりも成功させたいですね。

今年は会場が
変わります!

これまでの出来事

- 2月7日 第25回
みんなの家支援コンサート
- 8日 代休
- 10日 おしゃれ工房販売
- 16日 合同職員会議
- 19日 ささえる会世話人会
- 24日 第十二期第12回事務局会議
- 25日 おしゃれ工房販売
- 26日 防火防災講習会
- 27日 きょうされん東京支部
実践交流会
- みのり祭販売
- 28日 ハミングホール販売
- 3月3日 健康診断
第2回施設建設検討会
- 5日 うどん祭
第十二期12回評議員会・理事会
- 10~11日 あさやけ作業所
「CAZE カフェ」販売
- 15日 障害者権利条約学習会

第23回みんなの家まつり

作品市

2016年5月15日(日)

10時~14時 雨天実施

奈良橋市民センター中庭

(市役所耐震工事の関係で、
会場が変わるのでご注意ください)

作業所作品、模写店、体験コーナーなど
盛りだくさんでお待ちしています!

まかなひパートさん募集

勤務時間

- AM9:00~PM2:00
- 週2回

お気軽にお問合せ下さい。

【第二みんなの家】

TEL042-567-0267

これからの予定

- 3月31日 年度末事務整理
- 4月6日 お花見交流会

お詫び 221号の発行日「2018・01・29」は「2016・01・29」の間違いです。訂正してお詫びいたします。

発行所 〒157-0073 東京都世田谷区砧六・二六・二二

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価五十円

第一みんなの家 東大和市奈良橋6-728-2

TEL 042-564-1900

FAX 042-564-1905

daiichiminnanoie@taupe.plala.or.jp

第二みんなの家 東大和市奈良橋1-276-2

TEL 042-567-0267

FAX 042-567-0258

dainiminnanoie@kjb.biglobe.ne.jp

第三みんなの家 東大和市中央2-1122-5

TEL 042-562-8776

FAX 042-562-8733

daisanminnanoie@kdr.biglobe.ne.jp

みんなの家

ホームページはこちらです
<http://www.minnanokai.jp>